

ダイオキシン類の調査結果について

横須賀市では、ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項に基づき、平成 13 年度からダイオキシン類の環境調査を実施している。

平成 27 年度は、大気 4 地点（年 2 回）、河川 3 地点（水質及び底質年 1 回）、海域 5 地点（水質及び底質年 1 回）、土壌 4 地点（年 1 回）、地下水質 4 地点（年 1 回）で調査を実施した。

1 測定結果の概要

(1) 大気の調査結果

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (年平均値) (pg-TEQ/m ³)	環境基準 (pg-TEQ/m ³)	概 況
追浜行政センター分館	達成	0.012	0.6 (年平均値)	長期的には横ばい傾向である。
市職員厚生会館（小川町）	達成	0.018		
久里浜行政センター	達成	0.013		
西行政センター	達成	0.014		

(2) 河川の調査結果

①水質

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)	概 況
鷹取川（追浜橋）	達成	0.057	1 (年平均値)	測定値に変動はあるものの、環境基準値を大きく下回る値で推移している。
平作川（夫婦橋）	達成	0.058		
松越川（竹川合流後）	達成	0.083		

②底質

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)	概 況
鷹取川（追浜橋）	達成	25	150	測定値に変動はあるものの、環境基準値を大きく下回る値で推移している。
平作川（夫婦橋）	達成	6.8		
松越川（竹川合流後）	達成	3.0		

用語解説

- 環境基準：ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準。
大気及び水質の評価は年間平均値、土壌及び底質は測定値ごとに評価する。
- pg(ピコグラム)：重量を表す単位で、1 兆分の 1 グラムを指す。
- TEQ (毒性等量)：ダイオキシン類の中で、最も毒性の強い 2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した量を表す。

(3) 海域の調査結果

①水質

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)	概 況
夏島沖	達成	0.045	1 (年平均値)	長期的には横ばい傾向 である。
大津湾	達成	0.048		
浦賀港内	達成	0.042		
久里浜港内	達成	0.045		
小田和湾	達成	0.043		

②底質

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)	概 況
夏島沖	達成	17	150	長期的には横ばい傾向 である。
大津湾	達成	7.5		
浦賀港内	達成	11		
久里浜港内	達成	12		
小田和湾	達成	0.14		

(4) 土壌の調査結果

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
市内4地点	全ての測定 地点で達成	0.084 ~ 1.9	1,000

(5) 地下水質の調査結果

測定地点	環境基準 達成状況	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)
市内4地点	全ての測定 地点で達成	0.057 ~ 0.094	1

— 今後の取組み —

- ・ ダイオキシン類対策特別措置法対象事業所に対して、規制指導を行う。
- ・ ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、常時監視を継続して実施し、市民等への情報提供を行う。

ダイオキシン類の調査結果について（資料編）

横須賀市では、ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項に基づき、平成 13 年度からダイオキシン類の環境調査を実施している。

平成 27 年度は、大気 4 地点（年 2 回）、河川 3 地点（水質及び底質年 1 回）、海域 5 地点（水質及び底質年 1 回）、土壌 4 地点（年 1 回）、地下水質 4 地点（年 1 回）で調査を実施した。

1 調査地点

(1) 大気（4 地点）

追浜行政センター分館、市職員厚生会館（小川町）、久里浜行政センター、西行政センター

(2) 河川水質・底質（3 地点）

鷹取川（追浜橋）、平作川（夫婦橋）、松越川（竹川合流後）

(3) 海域水質・底質（5 地点）

夏島沖、大津湾、浦賀港内、久里浜港内、小田和湾

(4) 土壌（4 地点）

市内を 3 k mメッシュに分割した中から次の 4 公園を調査した。

東逸見 2 丁目公園、鴨居 3 丁目第 2 公園、長坂第 3 公園、久比里 1 丁目公園

(5) 地下水質（4 地点）

市内を 3 k mメッシュに分割した中から次の 4 地点を調査した。

東逸見町、鴨居、芦名、久比里

2 測定結果

(1) 大気

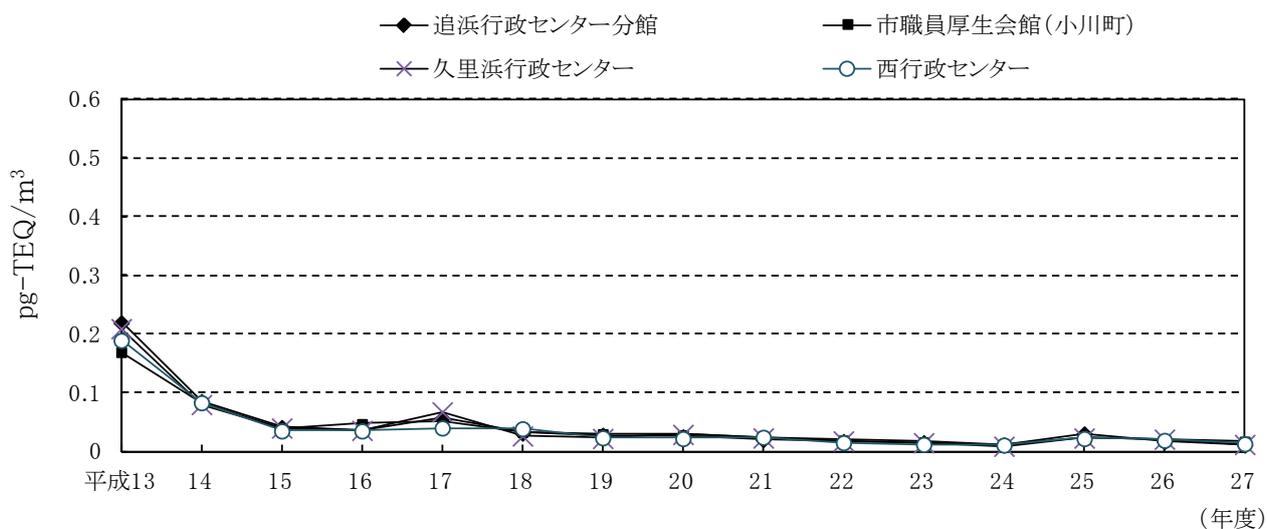
地点ごとの年平均値は、最大 0.018 pg-TEQ/m³、最小 0.012 pg-TEQ/m³、平均 0.014pg-TEQ/m³であり、全地点で環境基準（年平均値で 0.6pg-TEQ/m³）を達成した。

なお、過去 5 年間の測定値を下表に、測定開始以降の経年推移を下図に示した。長期的には横ばい傾向である。

（単位：pg-TEQ/m³）

調査地点	23 年度 年平均値	24 年度 年平均値	25 年度 年平均値	26 年度 年平均値	27 年度		
					8 月	1 月	年平均値
追浜行政センター分館	0.016	0.012	0.031	0.018	0.0091	0.014	0.012
市職員厚生会館（小川町）	0.017	0.013	0.025	0.022	0.021	0.014	0.018
久里浜行政センター	0.016	0.010	0.024	0.022	0.0083	0.018	0.013
西行政センター	0.013	0.012	0.023	0.020	0.011	0.017	0.014
最大値	0.017	0.013	0.031	0.022	0.021	0.018	0.018
最小値	0.013	0.010	0.023	0.018	0.0083	0.014	0.012
平均値	0.016	0.012	0.026	0.021	0.012	0.016	0.014

大気年平均値の経年変化



(2) 河川水質・底質

① 水質

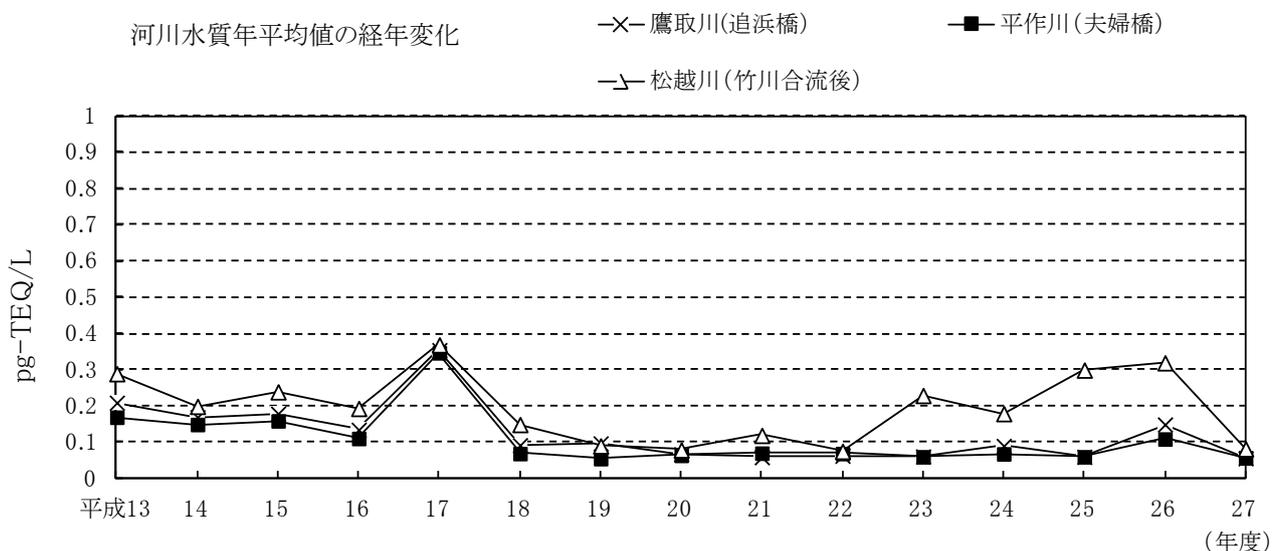
水質については、年平均値で最大 0.083 pg-TEQ/L、最小 0.057 pg-TEQ/L、平均 0.070 pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（年平均値で 1 pg-TEQ/L）を達成した。

なお、過去5年間の測定値を下表に、測定開始以降の経年推移を下図に示した。測定値に変動はあるものの、環境基準値を大きく下回る値で推移している。

(単位：pg-TEQ/L)

調査地点	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
鷹取川(追浜橋)	0.062	0.091	0.061	0.15	0.057
平作川(夫婦橋)	0.061	0.069	0.061	0.11	0.058
松越川(竹川合流後)	0.23	0.18	0.30	0.32	0.083
最大値	0.23	0.18	0.30	0.32	0.083
最小値	0.061	0.069	0.061	0.11	0.057
平均値	0.12	0.11	0.14	0.19	0.070

河川水質年平均値の経年変化



② 底質

最大 25 pg-TEQ/g、最小 3.0 pg-TEQ/g、平均 12 pg-TEQ/g であり、全ての地点で環境基準 (150pg-TEQ/g) を達成した。

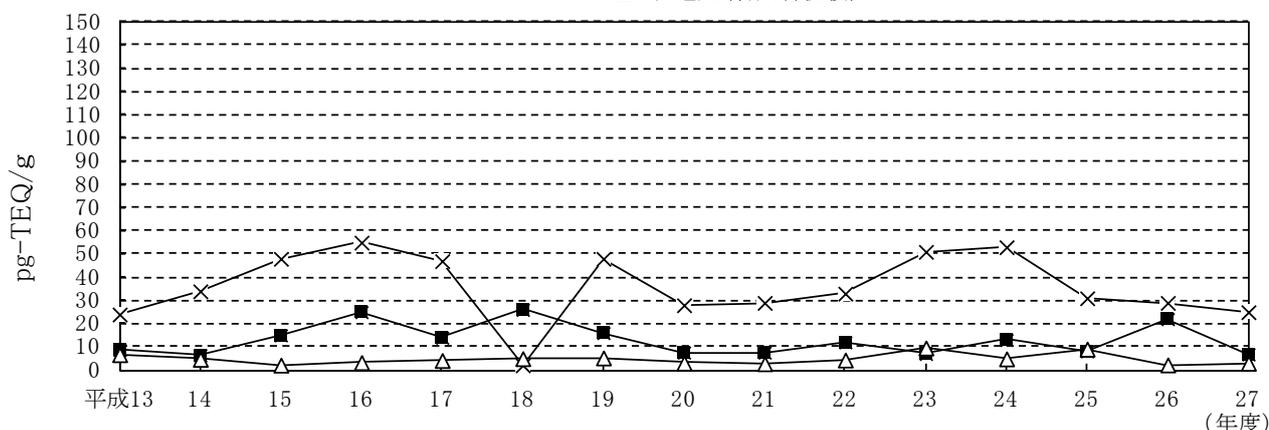
なお、過去 5 年間の測定値を下表に、測定開始以降の経年推移を下図に示した。測定値に変動はあるものの、環境基準値を大きく下回る値で推移している。

(単位：pg-TEQ/g)

調査地点	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
鷹取川 (追浜橋)	51	53	31	29	25
平作川 (夫婦橋)	7.0	13	8.1	22	6.8
松越川 (竹川合流後)	9.6	4.9	9.1	2.3	3.0
最大値	51	53	31	29	25
最小値	7.0	4.9	8.1	2.3	3.0
平均値	23	24	16	18	12

河川底質年平均値の経年変化

—X— 鷹取川(追浜橋) —■— 平作川(夫婦橋)
—△— 松越川(竹川合流後)



(3) 海域水質・底質

① 水質

水質については、年平均値で最大 0.048 pg-TEQ/L、最小 0.042 pg-TEQ/L、平均 0.045pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準 (年平均値で 1 pg-TEQ/L) を達成した。

なお、過去 5 年間の測定値を下表に、測定開始以降の経年推移を下図に示した。長期的には横ばい傾向である。

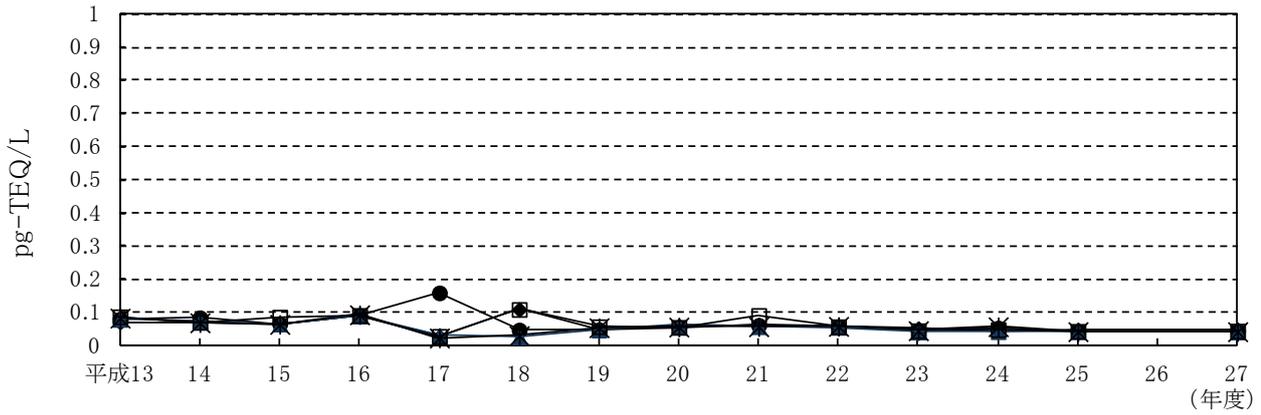
(単位：pg-TEQ/L)

調査地点		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
東京湾	夏島沖	0.046	0.054	0.044	-	0.045
	大津湾	0.052	0.044	0.047	-	0.048
	浦賀港内	0.042	0.043	0.043	-	0.042
	久里浜港内	0.046	0.049	0.044	-	0.045
相模湾	小田和湾	0.046	0.058	0.043	-	0.043
最大値		0.052	0.054	0.047	-	0.048
最小値		0.042	0.043	0.043	-	0.042
平均値		0.046	0.050	0.044	-	0.045

※平成 26 年度より隔年の調査としたため、26 年度は測定していません。

海域水質年平均値の経年変化

● 夏島沖 ◆ 大津湾 ▲ 浦賀港内
 □ 久里浜港内 ＊ 小田和湾



② 底質

最大 17 pg-TEQ/g、最小 0.14 pg-TEQ/g、平均 9.5 pg-TEQ/g であり、全ての地点で環境基準 (150pg-TEQ/g) を達成した。

なお、過去 5 年間の測定値を下表に、測定開始以降の経年推移を下図に示した。長期的に横ばい傾向である。

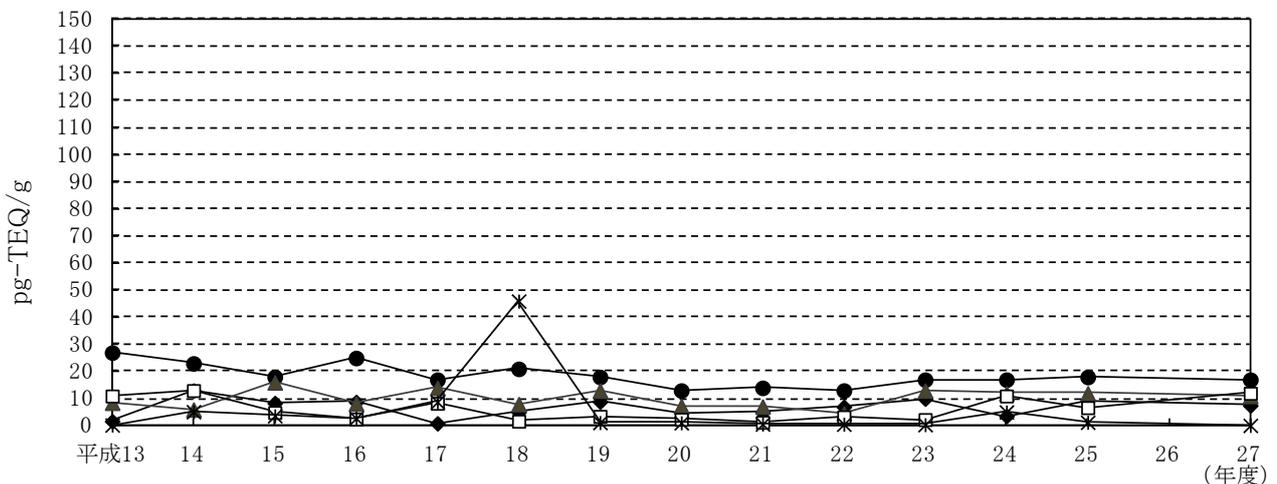
(単位：pg-TEQ/g)

調査地点		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
東京湾	夏島沖	17	17	18	-	17
	大津湾	10	3.6	9.3	-	7.5
	浦賀港内	13	12	12	-	11
	久里浜港内	2.3	11	6.7	-	12
相模湾	小田和湾	0.42	5.1	1.3	-	0.14
最大値		17	17	18	-	17
最小値		0.42	3.6	1.3	-	0.14
平均値		8.5	9.7	9.5	-	9.5

※平成 26 年度より隔年の調査としたため、26 年度は測定していません。

海域底質年平均値の経年変化

● 夏島沖 ◆ 大津湾 ▲ 浦賀港内
 □ 久里浜港内 ＊ 小田和湾



(4) 土壌

全ての地点で環境基準（1,000pg-TEQ/g）を達成した。

（単位：pg-TEQ/g）

	調査地点	調査結果
一般環境把握調査	東逸見2丁目公園	1.9
	鴨居3丁目第2公園	1.8
	長坂第3公園	0.084
	久比里1丁目公園	0.49
	最大値	1.9
	最小値	0.084
	平均値	1.07

一般環境把握調査：一般環境における土壌中のダイオキシン類濃度の状況を把握するため、特定の発生源の影響をあらかじめ想定せず実施する調査。

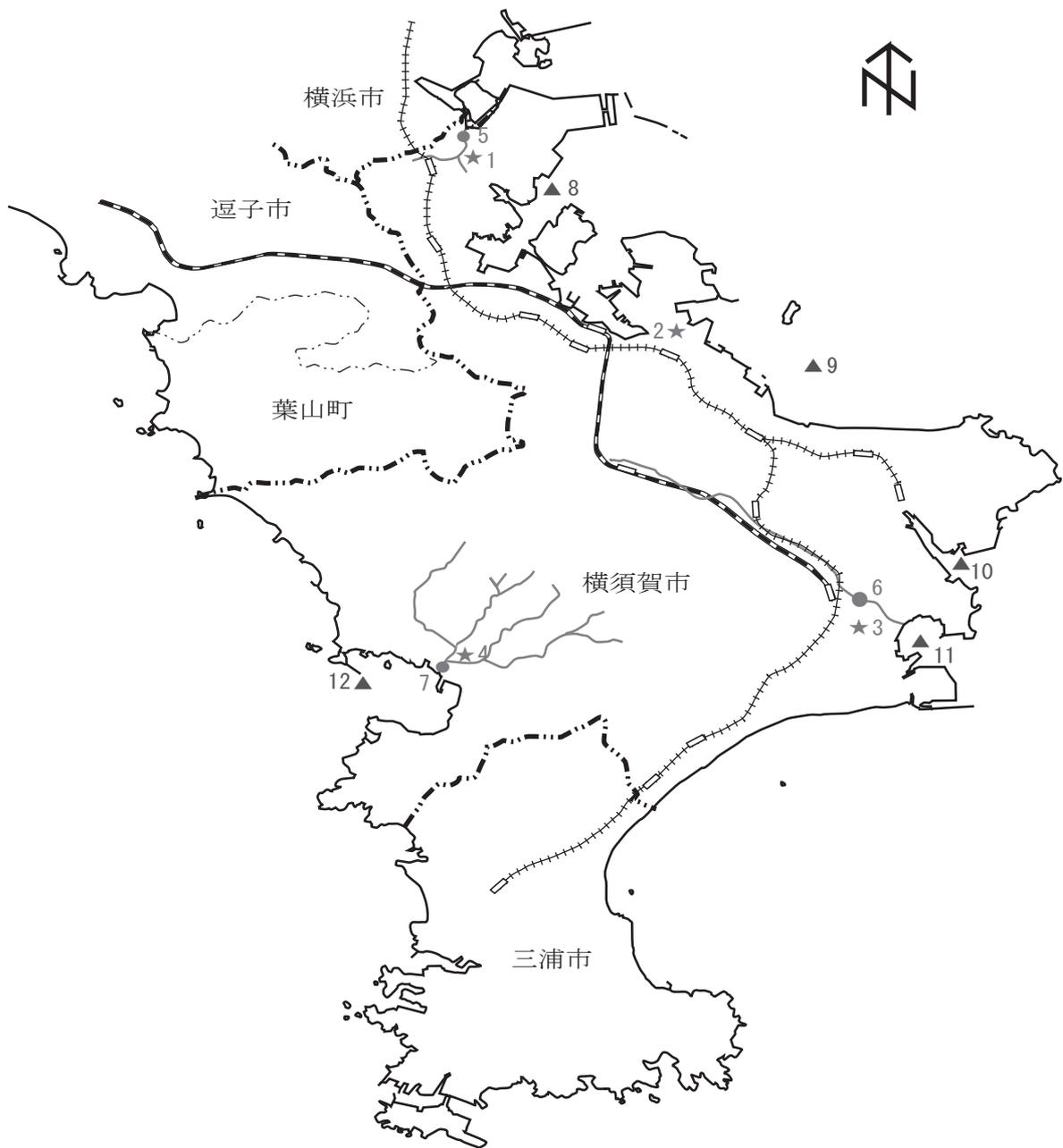
(5) 地下水質

全ての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を達成した。

（単位：pg-TEQ/L）

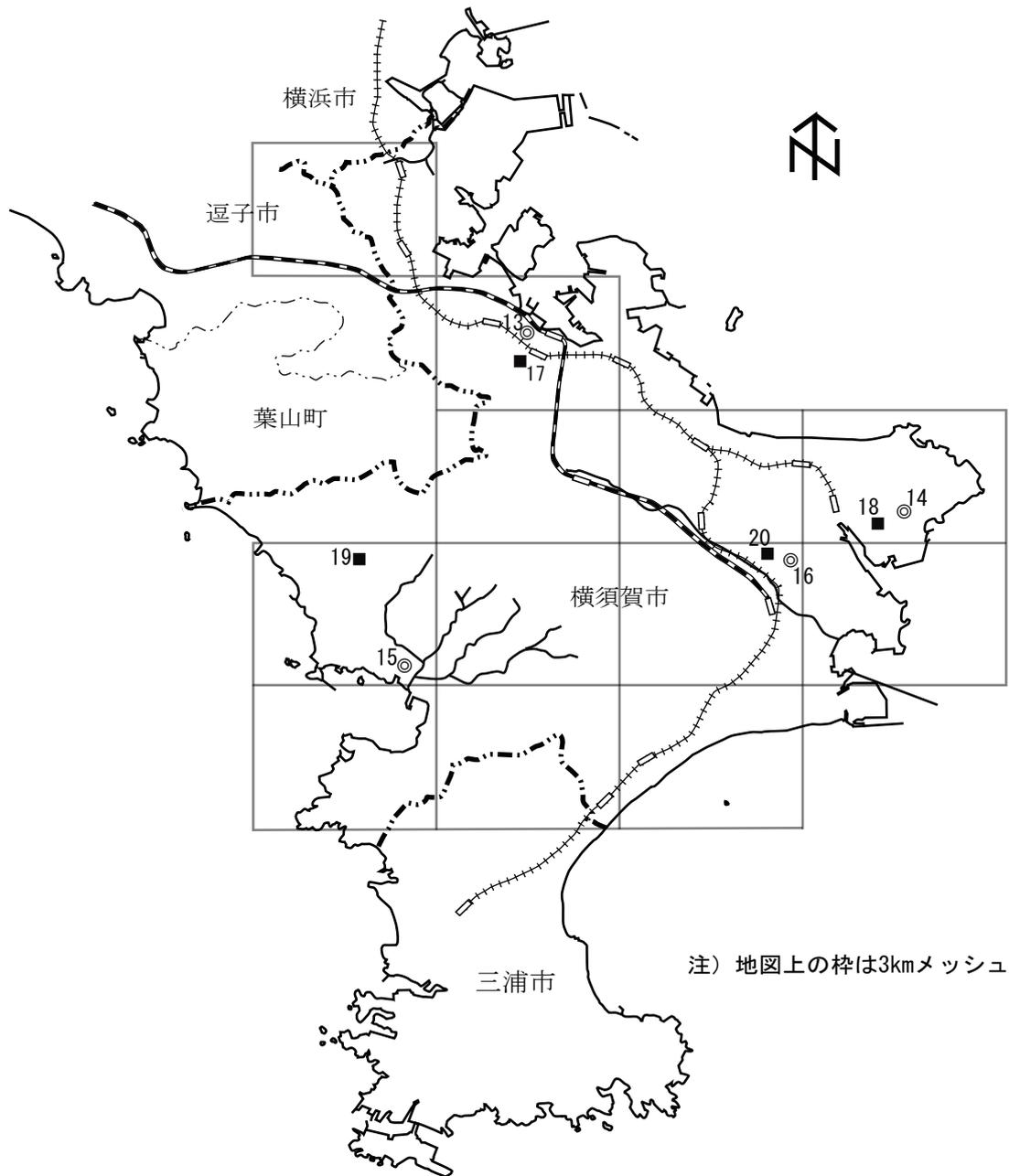
調査地点	調査結果
東逸見町	0.057
鴨居	0.058
芦名	0.057
久比里	0.094
最大値	0.094
最小値	0.057
平均値	0.067

ダイオキシン類調査地点(大気、河川、海域)



番号	調査地点	調査媒体
1	追浜行政センター分館	★大気
2	市職員厚生会館	
3	久里浜行政センター	
4	西行政センター	
5	鷹取川(追浜橋)	●河川 水質・底質
6	平作川(夫婦橋)	
7	松越川(竹川合流後)	
8	夏島沖	▲海域 水質・底質
9	大津湾	
10	浦賀港内	
11	久里浜港内	
12	小田和湾	

ダイオキシン類調査地点メッシュ(土壌、地下水質)



注) 地図上の枠は3kmメッシュ

番号	調査地点	調査媒体
13	東逸見2丁目公園	◎ 土壌 一般環境 把握調査
14	鴨居3丁目第2公園	
15	長坂第3公園	
16	久比里1丁目公園	
17	東逸見町	■ 地下水質
18	鴨居	
19	芦名	
20	久比里	